

2009年度

科目名	国語科教育法Ⅱ		
担当教員	金川 廣一郎、笹川 博司		
配当	教福2	コード	53530
開期	通年	講時	金曜日3限
		単位数	4
授業テーマ	(前期・笹川担当) 中学校および高等学校の国語科教育における古典分野(古文・漢文)の指導に必要な力の養成。 (後期・金川担当) 中学校および高等学校の国語科教育における実践力の養成		
目的と概要	(前期) 和歌を読み解くことを通して古典文法を復習し、漢文について基礎から学びなおす。古典分野の指導に必要な古典文法の知識と漢文訓読法の習得を目標とする。 (後期) 国語教師として必要とされることは何か。教材を通してどのような能力を育成するのか、そのためにどのような学習活動を組織すべきかなどを実践的に学ぶ。		
成績評価法	(前期) 平常点、テストなどを総合して評価する。 (後期) 出席状況・レポート・課題提出状況・授業への取り組みの姿勢を総合的に評価する。		
テキスト	(前期) 第1回の授業において配付する。 (後期) 「実践的国語科教育法」(原 國人編/新典社)		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	(後期) 実践力を高めるため様々な活動を設定する。また、国語科を指導する者としての資質を高めるための課題を課す。どちらも積極的に取り組んでもらいたい。		
講義計画			
第1回 オリエンテーション 第2回 和歌を読み解く1 第3回 2 第4回 3 第5回 4 第6回 5 第7回 6 第8回 7 第9回 8 第10回 漢文再入門1 第11回 2 第12回 3 第13回 4 第14回 5 第15回 テスト 第16回 模擬授業及び討議会のためのグループ編成・話し合い活動の指導法について 第17回 教材ビデオを元にしたディベート授業の学習 第18回 ロールプレイングによるディベート授業によるディベート授業 第19回 「実践アクセス講義」現職の先生による講義『国語授業の実際』(ゲストティーチャーによる) 第20回 文学教材の指導について 第21回 模擬授業/現代文学教材(1) 第22回 文学教材での発問・援助、補助教材の工夫 第23回 模擬授業/現代文学教材(2) 第24回 説明的文章教材の指導について 第25回 模擬授業/説明的文章教材 第26回 説明的文章教材での発問・援助、補助教材の工夫 第27回 「話すこと・聞くこと」の授業づくり 第28回 模擬授業/「話すこと・聞くこと」 第29回 「書くこと」の授業づくり 第30回 まとめとレポート作成			